



第38回 布 施

緩和ケア 研修会

〈司会進行〉



布施医師会緩和ケア担当理事
かわべクリニック院長

川邊 正和



東大阪プロジェクト代表

福村 雄一 (司法書士)



「まだ元気だから大丈夫」——そう思っているうちに、介護は突然始まります。

本講演では、在宅医療と終末期ケアに30年近く携わってきた医師の視点から、親の介護や看取りに向けた備えの重要性をお伝えします。

体調変化のサインを見逃さない工夫、公的支援制度の使い方、希望に沿った医療・介護の選択、そして“いざ”というときに慌てないための家族間の対話。

介護の現場で生じる困難に備え、地域・医療・介護がどのように連携し支え合えるのか、現場での具体的な事例も交えながらお話しします。

介護に関わるすべての人に届けたい、心構えと実践知です。

緩和ケア
×
介護
×
地域連携

座長：川邊 正和

基調講演

「“まだ 元気 だから”では 遅いんです」

～親の介護と看取りを、地域の力で支えるしくみと心構え～

2026

3.7 (土)

17:00-18:30 (16:45開場)

定員 200名 オンライン(Zoomウェビナー)

対象 在宅医療に関わる職種であれば
どなたさまでも参加いただけます
(地域制限はありません)

参加 無料

申込 裏面の二次元コードもしくはFAXより
必要事項を記入しお申し込みください
ZoomのURL・ID・パスコードは参加申込後
(事前登録後)にお知らせいたします



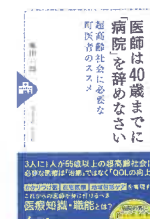
こちらの二次元
コードからでも
お申込できます



嶋田クリニック 院長

嶋田 一郎 先生

地域医療一筋40年。内科・神経内科の専門性を生かし、通院困難な方への在宅診療を今も第一線で実践。多職種連携の要として「三つ葉の会」を牽引し、認知症支援にも尽力している地域医療の実践者。



主催 一般社団法人 布施医師会

お問合せ 布施医師会 06-6721-1919